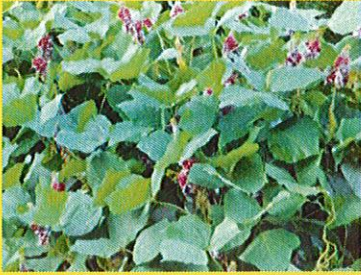


# 海岸防災林植樹地に侵入する気をつけたい植物

海岸防災林植樹地には、苗木の成長を阻害したり、さまざまな影響をもたらす植物も侵入してきます。除草等の適切な保育管理が大切になります。

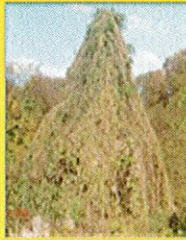
## クズ（マメ科）



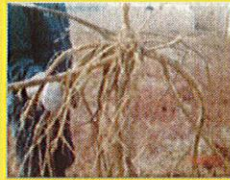
秋の七草のひとつで、葛粉や葛根湯などで人々の暮らしと大きく関わってきました。8～9月頃に濃紺紫色のきれいな花を咲かせますが、夏から秋にかけて、苗木に絡みつき、生育を阻害します。



苗木に絡みつき、完全に覆い隠してしまったクズ



高い木も覆い尽くす



駆除したクズの根もツルも放射状に広がる

## 苗木を被圧するその他の雑草



メヒシバ（イネ科）

強靱で、地を這うように広がります。一度繁殖すると、除去は困難です。



ヨシ（イネ科）

湿地を好んで大繁殖するので、クロマツの生育をさまたげます。



セイタカアワダチウ（キク科）

忌避物質を発生させて他の植物を駆逐し、単一群落をつくります。



ツルマメ（マメ科）

1年草ですが、植樹初期の苗木に絡みつき、覆い隠します。

## これからの海岸防災林で気をつけたい危険な植物

### ○有毒植物

#### ドクウツギ（ドクウツギ科）



ムカデのような葉に、赤と黒の花のような果実が特徴！

日本三大有毒植物の1つ。全草に毒性がありますが、果実の誤食による子どもの死亡事例が特に多いです。全国的に繁殖地が減っていますが、県内の海岸付近で大繁殖を始めています。

### ○花粉症を引き起こす



カワラヨモギ（キク科）

県南の海岸付近を中心に大繁殖しており、9月に大量の花粉を飛散させます。

※旺盛な繁殖力で植栽木を被圧することもあります。



ヨモギ（キク科）

大きく成長してしばしば単一群落をつくり、9月に大量の花粉を飛散させます。

### ○鋭いトゲに注意！

#### ニセアカシア（マメ科）



ニセアカシアの棘

#### テリハノイバラ（バラ科）



※ニセアカシアは旺盛な繁殖力で植栽木を被圧し生育を阻害します。また、根粒菌による土地の富栄養化によって周辺の土壌環境が変化してしまうといった影響もあります。

### ○その他、意外に厄介な雑草



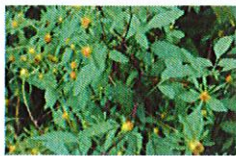
シロツメクサ（マメ科）

～土地の富栄養化を招く～



ヤハズソウ（マメ科）

～土地の富栄養化を招く～



アメリカセンダングサ（キク科）

～種子が衣服について大変～



エノコログサ（キク科）

～繁殖すると除去が困難～